

調査表2

総合計画における取組予定事業一覧

- ①令和3～7年度 事業費5,000千円以上事業
②令和3～7年度 新規事業

P. 1～3 1

P. 3 2

(令和7年3月末現在)

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その他根拠となる 計画の名称	事業の政策分野	事業分類	事業担当部門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		① 実施年度	事業費 (R3-7)	
									② 実施状況	① ○実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ○今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
									変更前	変更後			
1	空き家対策事業	1	過疎計画	空家等対策計画	環境保全	継続	総務課	伯耆町内で増加しつつある空家への対策として、除却に対して補助又は町への寄付による活用・除去により、空家の解消を図る。	老朽空家の除却による景観・環境の保全や公共的な施設として有効活用を図るための事業に対する補助制度及び寄附制度を新設し、空家問題の解消に資する。	実施	空家除去に対する補助金を交付した。 補助件数 9件 個人 9件 7,499円	R3-7	24,716
2	清掃センター解体事業	1	過疎計画	環境保全	新規	環境整備室	平成30年度末で焼却を終了した清掃センターの重油タンク、灰パンカ、煙突、バグフィルタを解体する。	令和2~3年度の継続事業 (172,000千円) 令和2年度 33,340千円 (重油タンク・灰パンカ) 令和3年度 138,660千円 (煙突・バグフィルタ)	完了	令和3年度に完了	R3	115,656	
3	紙おむつ燃料化処理委託事業	1	過疎計画	環境保全	継続	環境整備室	町内の事業系使用済み紙おむつの収集及び燃料化装置の運転・維持管理業務を委託する。	施設等の使用済み紙おむつについては、大量に出されるため処理困難となっている。 別処理することで、焼却をしやすくすること、炉を傷めにくくすることができる。	実施	町内の高齢者施設・保育所、南部町の高齢者施設等から排出される使用済み紙おむつを燃料化し、ゆうあいパルのボイラー燃料として使用。	R3-7	84,605	
4	太陽光発電設備導入事業	1	過疎計画	省エネルギー	新規	環境下水道室・整備室	公共施設への太陽光発電設備の導入促進	公共施設への太陽光発電設備の導入を促進し、電気使用量の削減を図るとともに、地域脱炭素ロードマップの実現を目指す。	中止	令和4年度に中止	中止	0	
5	家庭用発電設備等導入推進補助事業	1		省エネルギー	継続	環境整備室	住宅用太陽光発電システムなどの自然エネルギー設備を設置される方に対し、補助金を交付する。	地球環境問題を解決するため、自然エネルギーの活用を積極的に支援し、エネルギー対策を推進していく必要がある。	実施	住宅用発電設備等の導入に対して補助金を交付。 ・太陽光発電:6件 ・蓄電池等:8件 ・薪ストーブ等:4件	R3-7	12,095	
											変更なし	13,857	

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本 方針	その 他の 計 画 の 名 称 と な る	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
6	道路ストッ ク点検事業	1		道路網	継 続	環境 整 備 室	道路路面性状調査 トンネル点検(大倉隧道) 法面点検(4ヶ所) 道路附属物点検	町道における通行者被害についての調査	実 施	路面性状調査及び舗装修繕計画を策定	R3-7	6,000	
										変更なし	5,830		
7	橋梁維持 事業	1	過 疎 計 画	道路網	新 規	環境 整 備 室	橋梁の長寿命化計画に基づき、計画的に橋梁修繕を行う また、法定点検として2m以上の橋梁については点検を行う。	破損箇所修繕及び予防的修繕を行うことにより、施設の長寿命化を図る。 また、定期点検を行うことで事故防止及び早期修繕を行う。	実 施	補修工事 N=1橋 点検 N=40橋	R3-7	164,880	
										変更なし	145,909		
8	道路老朽 化対策事 業	1		道路 網	継 続	環境 整 備 室	個別施設計画に基づき、舗装の打ち替え等を行う。	路面の破損が著しい箇所の修繕を行うことにより、施設の長寿命化を図る。	実 施	町道溝口添谷線補修工事 L=300m	R3-7	64,757	
										変更なし	82,952		
9	道路除雪 車両維持 事業	1	過 疎 計 画	道路 網	新 規	環境 整 備 室	除雪車両の新規追加及び古くなった除雪車両を更新を行う。	除雪車両の充実を図り、作業の円滑化に寄与する。(想定機械:2t除雪ダンプ・ショベルローダー等)	実 施	除雪トラック(3t級) 1台 除雪ドーザ(8t級) 1台【繰越予算】	R3-7	51,673	
										変更なし	90,387		
10	町道根雨 原大坂線 道路改良 事業	1	過 疎 計 画	道路 網	新 規	環境 整 備 室	町道改良事業 L=180m	道路の拡幅及び線形改良	実 施	道路改良工事 L=88m 測量設計 1式	H28-R7	110,980	
										H28- R11	152,470		

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 他の 根拠 となる 計画 の名 称	事業 の政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		② 実施 年度	事業費 (R3-7)
									③ 実施 状況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)		
										変更前	変更後	
11	駅前河岡線改良事業	1		道路網	新規	環境整備室	町道改良事業 L=260m	道路の拡幅及び側溝修繕	完了	道路改良工事 L=151m	H30-R6	51,342
										変更なし		58,823
12	町道溝口中央線道路改良事業	1	過疎計画	道路網	新規	環境整備室	町道改良事業 L=670m	道路の拡幅及び路面修正、側溝修繕	実施	道路改良工事 L=14m	H29-R7	105,597
										変更なし		103,841
13	町道大倉大原線改良事業	1	過疎計画	道路網	新規	環境整備室	町道改良事業 L=160m	道路法面崩落及び落石対策	完了	令和4年度完了	H30-R4	37,813
										変更なし		37,813
14	町道吉長遠藤線改良事業	1		道路網	新規	環境整備室	町道改良事業 L=190m	路肩改良等による道路拡幅 【町道改良(機能強化)事業より細分化】	実施	道路改良工事 L=136.3m	R4-7	64,781
										変更なし		65,787
15	町道立岩林ヶ原線線改良事業	1		道路網	新規	環境整備室	町道改良事業 L=50m	路肩改良等による道路拡幅 【町道改良(機能強化)事業より細分化】	完了	道路改良工事 L=50m	R4-7	30,002
										変更なし		15,312

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本 方針	その 他の 根 拠 と なる 計 画 の 名 称	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)		
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)				
										変更前	変更後			
16	町道押口吉長線線改良事業	1	道路網	新規	環境整備室	町道改良事業 L=260m	路肩改良等による道路拡幅 【町道改良(機能強化)事業より細分化】	完了	道路改良工事 L=260m	R4-7	20,826	R4-R6	20,769	
17	町道岸本4号線線改良事業	1	道路網	新規	環境整備室	町道改良事業 L=60m	路肩改良等による道路拡幅 【町道改良(機能強化)事業より細分化】	完了	道路改良工事 L=62m	R4-7	35,037	R4-R6	22,485	
18	鎌倉山林道改良事業	1	過疎計画	道路網	新規	農林室	L=30.0m、W=5.0m 降雨により崩落した路側施設の改築を法面の修繕及び今後想定される法面崩落の防止を目的として、かご枠工による土留めを行う。	当該林道の利用区域には、保安林等の豊富な森林資源が存在しており、森林整備・管理を進めるための林内路網として必要な林道である。林道の崩落を防止するため改良を行う。	完了	令和5年度完了	R5	9,395	変更なし	9,395
19	農業集落排水機能強化事業	1	過疎計画	上下水道	継続	上下水道室	農業集落排水施設の機能強化 (6処理区)	処理区域再編(須村、久古、遠藤)及び 通報装置改修(旭、金岩、二部)	完了	令和4年度完了	R3-4	70,333	変更なし	70,333

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本 方針	その 他の 計 画 の 名 称 と な る	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
20	上水道施設改良事業(老朽管更新)	1		上下水道	継続	上下水道室	水道事業の適正な管理、運営を図るために、老朽管(石綿管)の更新をおこなう。	施工が容易で安価な石綿管は、昭和50年前半頃まで主たる水道管として利用されてきたが、耐久性に乏しく、破損による漏水が相次ぎ、維持管理に苦慮してきた。伯耆町内では、平成5年度以降下水道整備が着工となり、水道管も併せて更新されてきたが、主に下水道管の布設外のルートで石綿管が約6.8km残ったままとなっている。今後、安心安全な飲料水供給のためには、これら石綿管の更新が急務となってくる。 平成25年度 石綿管改良計画策定業務委託 平成26年度～令和3年度 実施設計および改良工事	完了	令和5年度完了		H28-R5	87,610
										変更なし			87,610
21	浄化槽整備事業	1	過疎 計 画 <small>生活排水処理基本計画</small>	上下水道	新規	上下水道室	合併浄化槽設置 15基	合併浄化槽対象地域へ年次的に設置を行い、生活環境の改善、公共用水域の保全を図る。	未実施	令和6年度新規設置希望なし		R3-7	10,316
										変更なし			5,027
22	自動通報装置改修事業	1		上下水道	新規	上下水道室	70基場	FOMA回線廃止(令和7年度末:2026年3月31日)に伴い、FOMA回線を利用している、処理場、マンホールポンプ場の自動通報装置の改修等を行う。	実施	通報装置更新 18基場		R3-7	22,945
										変更なし			27,694
23	企業誘致整備事業	1		上下水道	新規	上下水道室	丸山水源地改修 旧丸山配水池、旧八郷第2配水池の改修及び外構整備	企業誘致(大山ハム株の進出)に伴い、上水道安定供給のための施設整備を行う。	完了	令和4年度完了		R3-4	88,768
										変更なし			88,768

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本 方針	その 他の 根拠 となる 計画 の名 称	事業 の政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)		
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)				
										変更前	変更後			
24	水道施設改良事業	1		上下水道	新規	上下水道室	水道施設改良の年次的な実施。真野配水池更新、吉定水源地電気設備更新及び受水槽改修、根雨原水源地電気設備改修、管路改良、更新L=5970m	上水道安定供給確保のため、老朽化した管路・施設改良等を行う。	実施	真野配水池増設工事 V=50m ³ 幡郷地内老朽管更新 Φ 75 L=81.3m	R4-7	159,080	変更なし	196,223
25	伯耆町水道施設改良事業(溝口地区)	1	過疎計画	上下水道	新規	上下水道室	水道管(老朽管)を更新する。	水道管破損により、漏水が頻発しているため、水道管更新が急務である。破損の影響による断水を減らし、より安心安全な飲料水供給を図る。	完了	令和4年度完了	R4	6,653	変更なし	6,653
26	マイナンバー事業	1		地域情報化	継続	町づくり推進室	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に対応する機器整備等	法律の施行に対応する必要がある。普及促進に伴うシステム改修が次々と発生し、その仕様が、都度、国から示されるため事業費、負担割合等が現段階では算定不可。改修補助は通常10/10だが、厚労省のみ2/3のため8割で算定	実施	○システム改修 マイナンバーカードへの氏名のローマ字表記等に係るシステム改修(戸籍附票・住基・コンビニ)	R3-7	48,063	変更なし	54,679
27	職員PC端末更新事業	1		地域情報化	継続	町づくり推進室	職員・教職員用PC端末247台更新 学校教室等への再利用のためのPC端末 175台再設定	使用期限の到来する職員等のPC端末を更新し、安全な業務環境を維持する。	完了	令和4年度完了	R4	27,500	変更なし	27,500
28	複合機更新事業	1		地域情報化	新規	町づくり推進室	複合機15台更新	平成27年度に導入し、8年経過する複合機について更新を行い安全な業務環境を維持する。	検討	現行保守業者と複合機更新について協議し、更新時期の再検討を実施中。	検討	0	変更なし	0

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 他の 根 拠 と なる 計 画 の 名 称	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
29	有線テレビジョンセンター長寿命化事業	1	過疎計画	地域情報化	新規	町づくり推進室	屋根外壁等改修、放送機器等の更新	建設後25年経過する有線テレビジョンセンターについて長寿命化	完了	令和5年度完了		R3-5	45,152
										変更なし			45,152
30	システムサーバー等更新	1		地域情報化	新規	町づくり推進室	平成28年のネットワーク強靭化時に整備した基幹サーバー等及び戸籍システムサーバー等の更新	機器更新による、情報システムの安全な稼働体制確保	完了	令和4年度完了		R4	51,792
										変更なし			51,792
31	自主放送送出設備更新	1	過疎計画	地域情報化	新規	町づくり推進室	平成21年整備の自主放送送出設備の更新	機器更新による、安定的な番組送出体制の確保	実施	・自主放送送出設備更新 受注:伊藤忠ケーブルシステム(株) ・不用機器撤去 受注:(株)中海テレビ放送		R6-7	86,734
										変更なし			82,926
32	地図地籍資料収集・電算化事業	1		住宅・公園・緑地	継続	地籍調査室	公図電子化 地籍調査が当面実施されない範囲 二部地区の一部 約20,000筆 ほ場整備区域はH28まで完了(町内全域)	・中長期の地籍調査事業計画の策定に使用する。 ・地籍調査事業の成果と切図の関係の適正化・電子化を実施する。 ・切図検索時間短縮による住民サービス向上と丈量図の数値化により各種事務向上を図る。	実施	三部の一部の公図電子化 約1.35km ² 約1,800筆		R3-7	13,810
										変更なし			12,144

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 他の 根拠 となる 計画 の名 称	事業 の政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)		
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)				
										変更前	変更後			
33	地籍調査事業	1	国土調査事業長期計画	住宅・公園・緑地	継続	地籍調査室	事業内容 現地立会、図根三角点測量 境界測量、地籍図作成等 調査面積(立会開始～完了予定) 金屋谷～岩立2.80km ² (H29～継続) 岸本～遠藤 1.50km ² (H30～継続) 大寺～大殿、坂長 3.00km ² (R3～) 溝口～谷川 6.00km ² (R6～)	「地籍」を確定することにより、住民財産の保全、土地の有効活用を目的とする。 下記地区については、事業の進捗に合わせて計画的に事前調査を実施し、調査図の整備・電子化を図ることで、事業の円滑な執行と公団の管理の適正化を図る。 ・大幡地区(遠藤) ・幡郷地区(大寺～大殿、坂長) ・溝口地区(金屋谷～岩立、溝口～谷川)	実施	<立会> 大殿 0.08km ² 岩立 0.19km ² <基準点設置・測量> 大殿 0.08km ² 岩立 0.19km ² <図面作成・面積計算> 金屋谷 0.48km ² <本閲覧> 大殿 0.12km ² 金屋谷0.61km ²	R3-7	132,817	変更なし	125,273
34	地図管理事業	1	過疎計画	住宅・公園・緑地	新規	地籍調査室	地籍調査成果及び電子化された公団を管理する地図管理システムとパソコン本体を更新し、管理運用する。	公団の交付や地籍調査成果の提供を継続実施するため、地図管理システム及びパソコンを更新する必要がある。	実施	データ更新、保守管理 約60,000筆	R4-7	5,192	変更なし	5,192
35	震災に強いまちづくり促進事業(住宅耐震診断等補助金)	1	伯耆町耐震改修促進計画	消防・防災	継続	総務課	補助金の交付 住宅耐震診断 5件 住宅耐震設計 3件 住宅耐震改修 3件	令和2年度以降も引き続き耐震改修促進計画が継続される見込みのため、町としても更なる耐震改修促進のため事業を実施する。	実施	木造住宅の耐震診断及び危険ブロック壠除却・改修に対して補助金を交付した。 住宅耐震診断 6件 ブロック壠除却 1件、改修 1件	R3-7	4,345	変更なし	20,962
36	消防施設整備事業	1		消防・防災	継続	総務課	集落で行う消防施設整備に対して、補助を行い集落での消防能力の維持強化を図る。	消防施設の維持管理及び強化を図り、火災による被害の減少を図る。	実施	自主防災組織の資機材等整備への補助金を交付した。 消防施設整備補助金 4,302,000円	R3-7	24,417	変更なし	23,072

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 他の 根拠 となる 計 画 の 名 称	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
37	耐震性貯水槽整備事業	1	過疎計画	消防・防災	継続	総務課	防火水槽設置1基	消防水利の不足箇所について、効率的な消火活動を実施出来るようにするため、耐震性貯水槽の整備を行う。	実施	防火水槽設置工事 1基(久古) 防火水槽設計業務 2基(真野・須村)	R3-7	43,067	
										変更なし	77,488		
38	ため池防災減災対策推進事業(ため池ハザードマップ作成)	1	過疎計画	消防・防災	新規	農林室	ため池ハザードマップを作成する。	ため池ハザードマップを作成・整備することにより、災害発生時に迅速・的確な避難を行うとともに、災害による被害の低減を図る。	完了	令和5年度完了	R3-5	6,490	
										変更なし	6,490		
39	防災車庫設置事業	1		消防・防災	新規	総務課	重機2台、トラック2台を保管する防災車庫1基を設置する。	災害時に使用する重機等を保管する場所として、本庁舎、分庁舎が考えられるが、両庁舎とも浸水想定区域に入っている。 速やかな災害対応を行うために、この事業により、浸水想定区域外に防災車庫を設置する必要がある。	完了	令和4年度完了	R3-4	13,549	
										変更なし	13,549		
40	バス事業	1	過疎計画	公共交通	継続	経営企画室	広域路線バス補助金・デマンドバス運行委託料 広域バス路線維持費補助金: 17,000千円/年 デマンドバス運行委託料: 35,000千円/年 配車センター委託料:5,500千円/年	内料金収入2,600千円/年 県補助金8,900千円/年 ※現在赤字額の0.8が特別交付税ルール分の対象	実施	広域路線バス補助金・デマンドバス運行委託料 広域バス路線維持費補助金: 17,202千円 デマンドバス運行委託料: 34,885千円/年 配車センター委託料:3,368千円/年	R3-7	277,902	
										変更なし	269,388		

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 計 画 の 名 称 と る	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)		
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)				
										変更前	変更後			
41	車両購入事業(バス)	1	過疎計画	公共交通	継続	分庁総合窓口課	スクール、研修で使用するバスを導入する。	現在、伯耆町バス事業において、町所 有車両11台で運行している。このうち、登録年度の古いバスの故障、修繕等 が増加している。 ・平成19年登録車両 (46人乗) ・平成21年登録車両 (29人乗)	未実施	令和8年度以降に実施予定	R7	16,000	R8-	0
42	有害鳥獣 駆除事業	2	過疎計画	農業	継続	農林室	イノシシの捕獲奨励金の交付・捕獲作業の委託・集落等への侵入防止策の補助	イノシシの個体数の増加や生息範囲が拡大しており、鳥獣被害が増加している。そのため、各集落等で侵入防止柵等により対策を行い、さらに出没するイノシシを捕獲し、個体数の減少を図ることが必要。	実施	イノシシによる被害の防止のため、捕獲及び侵入防止柵の設置について支援し、被害防止を図った。 有害鳥獣対策事業 ・駆除委託料 3獣友会 279千円 ・侵入防止対策 17件 約6.1km 4,494千円 ・イノシシ捕獲奨励金 432頭捕獲 4,664千円 ・ニホンジカ捕獲奨励金 13頭捕獲 130千円 ・ニホンジカ捕獲奨励金上乗せ 13頭捕獲 91千円 ・ヌートリア捕獲奨励金 3頭捕獲 6千円	R3-7	55,167	変更なし	45,285
43	農業次世代人材投資事業	2		農業	継続	農林室	就農初期に係る運転資金、機械・施設整備費等に活用できる使途を限定しない交付金を交付。 対象者:認定新規就農者 交付額:年1,500千円/人	就農初期における生産基盤の不安定な新規就農者の経営安定を早期に図る。	完了	新規就農者育成総合対策事業に事業名変更(全体番号123)	R3-7	13,461	R3-7	8,961

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本 方針	その 他の 根 拠 と なる 計 画 の 名 称	事 業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事 業 費 (R3-7)		
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)				
										変更前	変更後			
44	担い手農業者機械導入支援事業	2	農業	継続	農林室	認定農業者等の担い手の現有機械の更新及び新規導入を促し、経営体の経費削減や作業効率向上を実現させ、農業経営の発展に資する。 補助率:20/100(令和4年度から) ※15/100(令和3年度まで) 事業費下限:30万円	認定農業者等の担い手の現有機械の更新及び新規導入を促し、経営体の経費削減や作業効率向上を実現させ、農業経営の発展に資する。 補助率:20/100(令和4年度から) ※15/100(令和3年度まで) 事業費下限:30万円	今後、担い手が減少し、担い手1人当たりの経営面積が拡大していくことが想定され、農業機械の更新、新規導入が重要となる。	実施	認定農業者等の担い手の現有機械の更新及び新規導入の支援 事業実施者:11経営体 補助額:8,938千円	R3-7	49,670	実施	49,170
45	担い手規模拡大促進事業	2	農業	継続	農林室	認定農業者が一定の要件を満たす利用権設定により規模拡大を図った場合に助成する。 助成単価:8,000円/10アール	認定農業者が一定の要件を満たす利用権設定により規模拡大を図った場合に助成する。 助成単価:8,000円/10アール	担い手への農地の集積促進及び耕作放棄地の抑制	実施	担い手規模拡大促進事業補助金 22件 3,324千円	R3-7	25,899	実施	24,223
46	土地改良補助事業	2	農業	継続	農林室	自治会・団体等が実施する農道・かんがい排水施設の施設整備支援 単町補助率:農道60%以内 かんがい排水施設55% しっかり守る農林基盤補助率:75%	自治会・団体等が実施する農道・かんがい排水施設の施設整備支援 単町補助率:農道60%以内 かんがい排水施設55% しっかり守る農林基盤補助率:75%	土地改良施設の集団的かつ継続的な保全管理を行い、地域の農業生産基盤の確保を図る必要がある。	実施	農道・かんがい排水の事業を行う集落等に補助を行った。 ・かんがい排水 3件 519千円 ・しっかり守る農林基盤整備補助金 15件 10,882千円	R3-7	64,678	実施	55,166
47	しっかり守る農林基盤交付金事業	2	農業	継続	農林室	地域の農業生産基盤整備の支援を図るため、大規模な整備事業については町が直接事業を実施する。 補助率:県1/2 分担金1/4 町1/4	地域の農業生産基盤整備の支援を図るため、大規模な整備事業については町が直接事業を実施する。 補助率:県1/2 分担金1/4 町1/4	大規模な農業生産基盤の保全・機能向上を図る必要がある。	実施	町が実施した農道・水路改修工事 ・金屋谷水路蓋設置 2,976千円 ・添谷水路蓋設置 1,089千円 ・大内水路蓋設置 3,016千円 ・小町水路改修工事 1,884千円 ・添谷水路修繕工事 3,937千円	R3-7	58,228	実施	56,529

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本 方針	その 他の 根 拠 と な る 計 画 の 名 称	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
48	みんなでや らしいや農業 支援事業	2	総 合 戦 略	農業	継 続	農 林 室	県事業のがんばる農家プラン事業、がんばる地域プラン事業。 がんばる農家プランは、意欲的な農業者や法人(認定農業者)が作成したプランに基づいて行う創意工夫を生かした経営多角化や雇用による規模拡大などの取組に対し支援を行う。 補助率:県1/3 町1/6 事業期間3年 事業費上限 個人9,000千円/年 法人21,000千円/年	がんばる農家プラン事業は、規模拡大、雇用増に応じた機械、設備費を県、町で支援し、担い手農家を継続的(3年間)に支援できる。R3～R5に2法人、2個人が予定されている。 がんばる地域プラン事業は、国事業と併用されるため、現在のところ予定がない。	実施	がんばる農家プラン 実施者:3経営体 (法人2 個人1) 補助金額:20,472千円 内容:ビニールハウス、トラクター、コンバイン、ホイルローダー、野菜移植機、サイドカッター、アッパーロータリ等の導入	R3-7	59,254	
										変更なし	92,632		
49	集落営農 体制強化 支援事業	2		農業	継 続	農 林 室	小規模農家が共同で営農する集落営農組織に対して、組織化に向けた取組、機械設備の整備、経営の多角化などの支援を行う。 補助率:県1/3 町1/6 事業費上限 21,000千円/3年	集落営農組織を最大3年間継続的に機械、施設導入を支援できる。令和3～4年度に規模拡大型の1組織が事業予定。また、令和3年～5年度に維持型の3組織が畦畔管理省力化事業(法面用草刈り機)導入予定。	実施	○規模拡大支援事業 実施者:1集落営農 補助金額:8,450千円 ○人材確保型支援 実施者:実施者なし	R3-7	5,339	
										変更なし	13,789		
50	景観形成 作物栽培 促進事業	2	過 疎 計 画	農業	継 続	農 林 室	水田の地力増進及び観光資源の確保を目的として、景観の良いJR、国道などの沿線に景観作物(菜の花、レンゲ、ヒマワリ)等の作付けを促し景観形成を推進する。	レンゲの交付金について、開花からすき込みまでの期間が短く、景観として鑑賞する期間が短い。 ヒマワリの圃場について、本数、刈取り時期等の問い合わせが多いため圃場の案内が必要。	実施	播種面積 ヒマワリ:1,928a 菜の花:4,051a レンゲ:5,064a 種子購入費:4,658千円 交付金交付額:3,893千円 緑肥作物 レンゲ:2,306a 種子購入費:766千円	R3-7	29,293	
										変更なし	39,741		

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本 方針	その 他の 根 拠 と な る 計 画 の 名 称	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		② 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									③ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
51	農業水路等長寿命化防災減災事業	2	過疎計画	農業	継続	農林室	農業水路等の農業水利施設が将来にわたってその機能を安定的に発揮していくために、適時・適切な長寿命化対策や防災減災対策を実施する。	農業水利施設の継続的な保全管理を行い、地域の農業生産基盤の確保を図る必要がある。	実施	農業水路等長寿命化・防災減災事業 ・中祖地区水路改修工事 L=232m 工事費:13,504千円 ・土地改良区事業負担金 尾高井手土地改良区 600千円	R3-7	83,131	
										変更なし	67,853		
52	大山山ろく開拓事業	2		農業	継続	農林室	大山山麓開拓パイロット事業	基幹水利施設管理事業負担金、 国営造成施設管理体制整備事業負担金 大山山麓地区土地改良区関連土地改良区補助金 その他関係協議会負担金	実施	基幹水利施設管理負担金 大山山麓地区土地改良区関連土地改良区補助 その他関連協議会負担金 合計 3,566千円	R3-7	15,645	
										変更なし	17,846		
53	農村地域防災減災事業	2		農業	継続	農林室	農村地域防災減災事業関連 尾高堰改修事業 海川第2地区水利施設整備事業 海川地区ストックマネジメント事業	県営事業の負担金 尾高堰改修 令和2年度繰越 令和3年度支払 5,000千円 海川第2地区 令和3年度 178千円 令和4年度 278千円 海川ストマネ 令和3年度 1,064千円	実施	海川第2地区 たんすい防除工事 L=238m 総額 28,257千円 伯耆町負担額 100千円	R3-7	5,264	
										変更なし	5,580		
54	国営造成施設更新事業	2	過疎計画	農業	新規	農林室	国営造成施設更新事業	国営大山山麓地区かんがい排水事業により整備された施設の更新(付帯的施設)を行う。 県営事業負担金(令和3～5年度)	完了	令和5年度完了	R3-5	3,422	
										変更なし	3,422		

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本 方針	その 他の 根拠 となる 計 画 の 名 称	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		② 実 施 年 度	事業費 (R3-7)
									③ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)		
										変更前	変更後	
55	県営富江地区かんがい排水事業	2	過疎計画	農業	新規	農林室	県営富江地区かんがい排水事業負担金 事業総額 2億～4億 町負担額 10%	令和2～3年度実施設計 令和4～7年度事業実施 事業内容現在協議中 最大見込みで 計上	実施	令和5年度繰り越し事業 かんがい排水工事 県営事業 ほ場整備工事 県営事業 精算交付金業務 県営事業 伯耆町負担額 9,188,734円 地元負担額 6,891,550円	R4-7	45,256
56	三部共同作業所解体事業	2	過疎計画	農業	新規	農林室	共同作業所、もみ殻保管庫の解体撤去を実施する。	三部共同作業所は使用頻度が少なくなったこと及び建物にアスベストを含有したスレートが使用されていることが判明したことから、建物2棟の解体撤去が必要である。	完了	令和4年度完了	R3-4	5,083
										変更なし	52,443	
57	農山漁村地域整備交付金事業	2	過疎計画	農業	新規	農林室	農地中間管理機構を通して担い手へ農地の集積・集約が困難な地域の土地改良事業について、農業水路等長寿命化防災減災事業を実施する。 (三部地区)可動堰修繕 1箇所	主要水利施設である水路や農業用ため池及び取水堰等の改修を行うことにより、水路等の長寿命化及び維持管理労力の削減を図る。	完了	・三部地区大仙田堰修繕工事 現在、作動しなくなっている大仙田堰左岸ゲート(鋼製転倒ゲート)が動作不良の原因である箇所の修繕を行う。 転倒堰修繕 1箇所 工事費:7,582千円(繰越分)	R5-6	4,796
										変更なし	12,378	
58	中山間地域等直接支払交付金事業	2		農地	継続	農林室	中山間地域等の国土保全・水源涵養等の多面的機能を確保するため、その地域の水田の良好な管理を図る。 ・集落協定 50集落 ・個別協定 2協定 ・協定面積 626ha	中山間地域等の国土保全・水源涵養等の多面的機能を確保するため、その地域の水田の良好な管理を推進。	実施	中山間地域等の国土保全・水源涵養等の多面的機能を確保するため、その地域の水田の良好な管理を図る。 ・集落協定 52集落 ・個別協定 2協定 ・協定面積 642ha	R4	489,430
										変更なし	494,155	
59	多面的機能支払交付金事業	2		農地	継続	農林室	集落等の組織で実施する農業用施設の共同管理や同施設の機能向上や、農業の持つ多面的機能の保全を図る取り組みを支援する。 実施組織:32組織	地域の農業生産基盤の保全を図るためは、各集落等の農業用施設維持管理の集団的な取り組みを継続的に実施していく必要がある。	実施	多面的機能支払交付金事業 集落等で実施する農業用施設等の共同管理等により、農業農村の持つ多面的機能の保全を図る活動を支援 33組織 618ha 交付金額 36,131千円	R3-7	168,687
										変更なし	165,054	

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 他の 根拠 となる 計画 の名 称	事業 の政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)		
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)				
										変更前	変更後			
60	荒廃農地 防止事業	2		農地	継続	農林室	農地の荒廃防止を目的に、日本型直接支払制度の対象となっていない農地の保全管理を行う団体に交付金を交付する。 ・交付額: 10a当たり5,000円	中山間地域等直接支払制度(5期対策)の協定農用地が前期対策に比べ▲34haとなるなど、所有者の高齢化等により個人では保全管理できない農地が増えているため、荒廃防止を図る必要がある。	中止	令和4年度の事業見直しにより事業中止	R3-4	200	変更なし	200
61	農地中間 管理事業	2		農地	継続	農林室	農地中間管理事業で農地を集積した地域等を支援する機構集積協力金交付事業補助金及び農地中間管理事業の事務費	令和3年度は大江集落の人・農地プラン実質化に伴う農地集積に係る機構集積協力金。 令和5年度は富江かんがい排水事業に伴う農地集積に係る機構集積協力金。その他は農地中間管理事業の委託事務費。	実施	農地中間管理事業委託事務費:1377千円	R3-7	7,297	変更なし	10,525
62	堆肥セン ターマネジ メント事業	2		畜産	継続	農林室	伯耆町堆肥センターの維持管理運営 ・指定管理 ・施設維持管理	耕畜連携の推進	実施	優良な堆肥を生産・販売し、耕畜連携を図った。 堆肥生産 904t 生産事業費 11,971千円	R3-7	13,269	変更なし	23,968
63	大滝放牧 場管理事 業	2		畜産	継続	農林室	大滝放牧場の放牧牛の育成管理、草地管理、施設管理	和牛繁殖経営への若い参入者や規模拡大を希望する農家もあるが、畜舎整備や労力の負担が大きい。この事業により、農家の省力化・コスト低減を図り、さらに足腰の強い繁殖雌牛の育成を図る。	実施	放牧による農家の省力化、コスト低減、足腰の強い牛づくりを図った。 年間利用延べ頭数 2,566頭 事業費 1,792千円	R3-7	9,934	変更なし	9,712
64	大滝放牧 場草地改 良事業	2	過 疎 計 画	畜産	継続	農林室	大滝放牧場の草地14haについて、4カ年計画で草地改良を実施する。	大滝放牧場の芝草地改良を行い、放牧頭数の増加を図り、農家の省力化・コスト低減による規模拡大を推進し、畜産農家の経営安定を図る。	実施	野芝の生育が悪化した草地の改良を実施し、装置の改善を図った。 除草、転石集積 1.3ha	R3-6	22,495	変更なし	21,232

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その他の根拠となる 計画の名称	事業の政策分野	分類	事業担当部門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実施 年度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実施 状況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
65	優良雌牛 家畜導入 事業	2	総合戦略	畜産	継続	農林室	県内外から優良な雌牛を導入し、能力の高い子牛の生産を図ることにより、高い価格での販売が出来るよう支援する。	県内の市場で取引される子牛は平均価格が高いため、子牛の新規導入が難しい状況であることから、優良な子牛の導入への支援を行う必要がある。	実施	町内和牛繁殖農家の繁殖雌牛の導入を支援した。 11農家29頭導入 1,900千円	R3-7	8,200	変更なし 8,100
66	和牛増頭 対策推進 事業	2		畜産	継続	農林室	特定の要件を満たす繁殖雌牛の導入を支援することにより、新規参入や規模拡大を推進し、和牛繁殖経営の基盤強化を図る。 補助率:1/2(県1/3 町1/6)	鳥取県が産出した優秀な種雄牛のおかげで、子牛市場は高値で安定しているが、その反面、和牛繁殖経営への新規参入や規模拡大に多額の経費が必要になっている。	未実施	令和6年度は希望なし	R3-7	1,725	変更なし 1,725
67	松くい虫防 除事業	2		林業	継続	農林室	薬剤による空中散布や被害木伐倒による駆除を行う	県が指定する高度公益機能松林及び町の地区保全松林の維持を図る必要がある。	実施	特別防除:143ha × 2回 13,254千円 緊急防除:30本 1,572千円 特別伐倒:61.91m ³ 1,267千円 被害拡大防止支援補助金 4団体 補助金額:1,291千円	R3-7	101,900	変更なし 94,238
68	ナラ枯れ対 策事業	2		林業	継続	農林室	ナラ枯れ被害の拡大防止を図るため、被害調査及び被害監視を行い、被害が確認された場合は被害木の駆除を実施し、被害拡大の防止を図る。 ※令和2年度実施箇所: 楢水高原周辺	被害面積が拡大しており、被害調査・被害防止策を継続的に図っていく必要がある。 実施区域: 大山山麓一帯(楢水高原・大内・丸山・小林・岩立など)	実施	カシナガトラップ設置 463基 4,532千円 伐倒搬出 6本 330千円	R3-7	38,398	変更なし 23,260

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本 方針	その 他の 根 拠 と な る 計 画 の 名 称	事 業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事 業 費 (R3-7)	
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
69	町林道維持事業	2	林業	継続	農林室	町管理林道の管理(除草作業等)	町が管理すべき林道の管理(森林整備事業へ移行)		実施	町管理林道の管理委託 日野金城線林道、鎌倉山林道、鬼住山林道 ・除草作業 1,271千円 ・側溝土砂撤去及び枝切 835千円	R3-7	7,658	
										変更なし	8,793		
70	間伐材搬出補助事業	2	林業	継続	農林室	森林の持つ公益的機能である、二酸化炭素の吸収や災害発生の抑制機能を十分に発揮させるため、適切な手入れが必要となる。森林整備を促進するため、間伐材搬出への支援を行う。	森林組合等が行う間伐事業に対して、伯耆町単独でかさ上げを行うことにより、間伐材の搬出・販売を促進し、健全な森林の育成、木材資源の有効活用を図る必要がある。(森林整備事業へ移行)		実施	間伐材搬出補助事業補助金 ・西部森林組合 307千円 ・日野森林組合 1,116千円	R3-7	9,118	
										変更なし	7,841		
71	森林整備事業	2	林業	継続	農林室	森林環境譲与税の創設に伴う、森林經營管理法の施行により、町において森林管理に関する業務を行う。	森林管理について、森林所有者の意向等を把握し、放置されている森林の危険箇所の抽出、危険度・緊急性等による優先度の決定が必要である		実施	森林整備意向調査委託 3件 4,709千円 森林整備高度化補助金 1件 補助金額: 754千円 システム利用料 660千円 造林補助金: 39千円 基金積立 5,480千円	R3-7	52,349	
										変更なし	50,301		
72	森林整備地域活動支援交付金事業	2	林業	継続	農林室	集落等で森林施業の基となる「森林經營計画」の樹立を推進する。この事業では、集落の委託を受けて「森林經營計画」を樹立する森林組合・造林公社への支援を行う。	木材市場の恒常的な低迷と森林所有者の不在などで森林が放置され、森林の荒廃が進行している。国土保全の観点からも森林施業を推進し、適正な森林環境を維持する必要がある。		実施	森林經營計画策定のための支援を行った。 交付金: 1,240千円(丸山、根雨原) 事務費: 33千円	R3-7	7,521	
										変更なし	5,020		
73	大山ガーデンプレイス管理事業	2	観光	継続	商工観光室	大山ガーデンプレイスの管理・運営に関する事業。指定管理による運営。交流の拠点として、地元特産品と観光を連携した地域産業を行う。	施設設備の老朽化により緊急修繕が必要となるケースが毎年生じている。県外をはじめ多くの来客者がある施設であるため、コロナの対策を引き続き徹底する必要がある。		実施	クラブハウストイレ修繕、出荷準備室のエアコンの修繕を行った。 事業費: 9,438千円	R3-7	43,132	
										変更なし	54,664		

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本 方針	その 他の 計 画 の 名 称 と なる と る	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		② 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									③ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
74	大山望管理事業	2	観光	継続	商工観光室	ふれあい交流ターミナル(大山望)の管理・運営に関する事業。指定管理による運営。地元農産品の販売等により、農林畜産業の活性化を図る。町内産の野菜等の店頭販売や、町内で飼育された和牛の肉の販売等を行う。	地元特産品の取扱いにより、県外をはじめ多くの来客者がある施設であるが、今後新型コロナ感染症対策をはじめ、実情に対応した施設利用を検討する必要がある。	実施	指定管理による運営を実施。 加工場エアコン修繕を実施。 事業費:8,694千円	R3-7	42,055	変更なし	42,750
75	ふれあいの森等管理事業	2	観光	継続	商工観光室	ふれあいの森・交流の森・渓流植物園の管理。運営に関する事業。指定管理による運営。	渓流植物園は、夏場は特に来訪者が急増しているため、コロナ対策を引き続き徹底し快適に利用してもらうよう努める必要がある。	実施	指定管理による運営・維持管理を実施した。 事業費:5,009千円	R3-7	24,189	変更なし	24,784
76	おにっ子ランド管理事業	2	観光	継続	商工観光室	おにっ子ランド等施設の維持管理を行い、利用促進と来訪者の快適な利用に寄与する。	施設の老朽化が生じているため適宜修繕等が必要となる。 来訪者及び施設でのコロナ対策を引き続き徹底する必要がある。	実施	施設の保守点検結果を受けて、適宜修繕を行った。 事業費:2,615千円	R3-7	12,993	変更なし	13,277
77	樹水高原観光施設管理事業	2	観光	継続	商工観光室	伯耆町の観光振興を推進するため、樹水高原を中心とした施設整備等を行う。 ・索道事業に係る繰出金 (索道の計画的修繕) ・樹水フィールドステーション ・樹水高原駐車場トイレ 等	近年の温暖化傾向により冬季のスキーカー客数が減少している。圧雪車をはじめ、耐用年数を超える見込みのものもあり、スキー場のあり方を検討する必要がある。また、需要の見込める観光リフトの計画的な修繕が必要となっている。	実施	トイレ修繕費 51千円 トイレ浄化槽保守委託料 319千円 その他管理経費 743千円 索道会計繰出金 18,176千円 事業費計 19,289千円	R3-7	116,890	変更なし	119,712

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本 方針	その 他 根 拠 と な る 計 画 の 名 称	事業 の 政 策 分 野	分 類	事業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		⑦ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
78	樹水高原マウンテンバイクコース設置管理事業	2	観光	新規	商工観光室		樹水高原内を中心にマウンテンバイクのコースの新設することで、グリーンシーズンの来客者増を見込む。リフト搬器に自転車を乗せるラックを設置する予定。また、コースの保全(草刈り、穴ができた場合の現状復帰等)を行う。 ・リフト搬器にバイクラックを設置(令和3年度のみ) ・コース設備のための草刈り 等	新型コロナの影響により、アウトドアのアクティビティに人気が出ている。温暖化による雪不足が顕著な中、グリーンシーズンの来客者を伸ばすことが必要であり、この事業により、樹水高原を中心とした町内飲食店や宿泊施設の来客者数の増加を見込む。	完了	令和3年度完了		R3	0
										変更なし	変更後		
79	大山山麓リゾート観光・田舎ものマッチング事業	2	過疎計画	観光	継続	商工観光室	地域力の向上と、地域産業の振興を図るため、地域特産品等販路拡大事業を委託する。 地域の農畜産物の都市部への配送を支援する。	販路拡大事業として地域農畜産物の配送に係る費用を支援しているが、コロナの影響により都市部での消費が落ち込んでいる。	実施	伯耆町特産品取扱業者等への配達 事業費計:1,320千円		R3-7	3,960
										変更なし	変更後		
80	樹水地区観光施設整備事業	2	過疎計画	観光	新規	商工観光室	索道施設及びフィールドステーション等の維持修繕等の施設整備を行う。	施設の老朽化が進んでいるため、定期的な維持修繕が必要である。	実施	第3リフト長寿命化整備工事の実施。 事業費:4,015千円		R3-7	41,362
										変更なし	変更後		
81	樹水フィールドステーション長寿命化事業	2	過疎計画	観光	新規	商工観光室	老朽化した施設の避難所としての機能強化、施設の有効利用を図り修繕を実施する。	施設の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕が必要。	完了	令和5年度完了		R4-5	62,920
										変更なし	変更後		

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 計 画 の 名 称 と る る	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)		
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)				
										変更前	変更後			
82	本気で頑張る産業支援事業	2	総合戦略	商工	継続	商工観光室	町内の産業振興に寄与すると認められる地域振興を活用した事業について、補助を行う。 (1)商品・サービス等開発事業 (2)市場開拓事業 (3)競争力強化事業 (4)人材育成事業 (5)リノベーション事業 (6)国県等補助対象事業	コロナにより消費が落ち込んだ飲食店等が独自の商品開発や競争力を強化する取り組みが必要である。 県の事業も有効に活用し、事業者の経営発展を支援していく必要がある。	実施	「本気で頑張る産業支援事業補助金」により、町内事業所等が行う特産品開発、販路開拓、競争力強化等への支援を実施。 事業数 12事業 交付決定額 2,879千円	R3-7	14,525	変更なし	13,404
83	地域学校協働本部事業	3	総合戦略	学校教育	継続	生涯学習室	地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図り、多様な形態の教員支援を可能とし、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図る。 各学校に学校支援コーディネーター及びそれらを統括する統括コーディネーターを配置し、学校と地域との連携を図る。 また、経済的理由や家庭の事情により、学習が遅れがちな中学生を対象に伯耆未来塾を開催し、学習習慣の確立や基礎学力の定着を目指す。	地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図り、多様な形態の教員支援を可能とし、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図る。 活動のより充実を図るため、学校支援コーディネーター及びそれらを統括する統括コーディネーターの資質向上を図る。 また、経済的理由や家庭の事情により、学習が遅れがちな中学生を対象に伯耆未来塾を開催し、学習習慣の確立や基礎学力の定着を目指す。	実施	各学校に学校支援コーディネーター、事務局に統括コーディネーターを配置し、学校支援活動の充実を進めた。また学校において地域貢献活動をおこなう ○学習支援活動 事業数:365 ○環境整備 事業数:33 ○学校行事 事業数:24 ○その他(地域貢献活動含) 事業数:28 ○研修等参加 ○実行委員会、コーディネーター定例会実施	R3-7	19,675	変更なし	18,906
84	放課後子供教室事業	3	総合戦略	学校教育	継続	生涯学習室	放課後の子どもが、安心・安全に過ごし、多様な体験・活動に取り組め、多くの友達や異年齢の子ども、地域の大人たちと関わる場づくりとして放課後子ども教室を実施する。	放課後における、児童の活動の場所を確保する。	実施	岸本・溝口小学校で週3回の子ども教室を児童クラブと一体型で実施することができた。 実施回数 岸本小学校93回 溝口小学校79回	R3-7	10,915	変更なし	11,186

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 他の 根 拠 と な る 計 画 の 名 称	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		⑦ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
85	スクールソーシャルワーカー活用事業	3	総合戦略	学校教育	継続	総務学事室	児童生徒の不登校や問題行動等の背景には、家庭環境や家族個々が抱える個別の課題が絡み合っている。そのため、SSWを配置し、学校と連携し未然防止を図るとともに、各学校のケース会議や要保護児童対策地域協議会などに参加し、関係調整等の役割を行う。	福祉の手法を教育現場に取り入れ、関係機関が連携し、組織的・体系的に取り組むが、教職員の異動により、取組み方に戸惑う教員もいる。そのため、SSW活用ガイドブックを改訂して、周知していく。	実施	SSW2人配置し、学校・関係機関と連携・情報共有のうえ、問題を抱える児童生徒の個別の状況や問題点の把握・確認、支援方針の確立等、支援を行い課題の解消につなげた。 ・ケース会議等 50件	R3-7	34,288	
										変更なし	37,433		
86	特別教育支援員配置事業	3	総合戦略	学校教育	継続	総務学事室	小中学校において教育上特別の支援を要する児童生徒が在籍する通常学級ならびに、特別支援学級のうち、日常的に介助を要する児童生徒が在籍する学級に介助員として学習支援員を配置するもの。	個別の支援計画の作成・引継により、保小、小中、中高の接続部分での情報共有・指導の充実を図る。特別な支援を要する児童生徒の対応について、医療との連携や保護者の理解啓発が課題となっているので、早期(保育所)からの情報提供や教育相談を行っていく。	実施	学習支援員小学校12名・中学校2名及び早期支援コーディネーター1名の配置等により、支援の必要な児童生徒の学習環境の充実や早期(保育所)からの情報共有・相談体制の確立を図った。	R3-7	136,831	
										変更なし	155,186		
87	コミュニティスクール推進事業	3	総合戦略	学校教育	継続	総務学事室	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第47条にあるコミュニティスクール(学校運営協議会制度)の活用を推進するため、保護者や地域住民との合議制による学校運営協議会を通じて、一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、よりよい教育の実現を目指すもの。	学校運営協議会制度の理解が不十分である。全学校がコミュニティスクールとして指定されているので、周知を図り、中学校区でのNW会議を活用していく。	実施	全小中学校で学校運営協議会指定及びCSディレクターを配置し、各コミュニティスクールや地域学校協働本部事業の連携・調整・情報共有等を推進する伯耆町ネットワーク会議を設置することで、一体的に「地域とともににある学校づくり」を推進することができ、教職員の地域に対する意識改革や地域・保護者の学校経営への理解を深め、積極的な協力が得られるようになった。児童生徒も地域に目が向くようになった。	R3-7	15,783	
										変更なし	16,464		

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 他の 根 拠 と な る 計 画 の 名 称	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
88	教育支援センター推進事業	3	総合戦略	学校教育	継続	総務学事室	伯耆町教育支援センター(えがお)は、主に不登校傾向にある児童生徒への学習支援や生活指導を行う。また不登校やいじめ、友人関係などで悩みを抱える児童生徒・保護者の相談を受け、不登校・問題行動等の未然防止を図ることを目的として設置する。	不登校傾向の児童生徒の再登校までの支援機関としてSSWや各学校の教育相談担当者と連携して取り組む。	実施	不登校児童生徒の学習指導や生活指導を行い、再登校への支援を行った。保護者の相談に応じながら学校等と連携を密にし、再登校への準備を進めた。	R3-7	10,603	
									実施	変更なし	11,656		
89	外国青年招致事業	3		学校教育	継続	総務学事室	英語圏から外国青年を招致した外国語指導助手(ALT)として各中学校に配置することで、国際理解・語学教育の充実を図るもの。	中学校の英語の指導においてネイティブスピーカーの英語にふれることで、イントネーションや発音への意識をもたらすとともに、異文化への関心を高める。	実施	各中学校にALTを配置して英語活動を支援し、国際理解教育を支援した。また、公民館の英会話教室での講師、広報誌にALT通信を掲載するなど、地域における国際理解の啓発に寄与した。	R3-7	38,419	
									実施	変更なし	40,409		
90	小中一貫学力・人間力定着促進事業	3	総合戦略	学校教育	継続	総務学事室	現行の「確かな学力定着促進事業」と「小中一貫・地域共有推進事業」を統合し、児童・生徒が抱える学力課題を確実に解消し、学力向上につなげるために小中学校間で課題を共有し、小中が一貫した授業改革により教師力の力量を高めることで、学びの質向上を推進するもの。	義務教育修了時に向けて、児童・生徒の学力と人間力をできるかぎり高めていくことが課題である。そのために、中学校区を単位として、小学校と中学校の教職員が顔を合わせて協議する機会を設け、小中で一貫した指導体制を確立する。	実施	保小中一貫教育の視点について、全教職員対象とした研修会を開催した。加えて小中一貫授業力向上研修会、小中一貫学力向上推進担当者会を開催し、学力向上のPDCAサイクル化を図った。各校においても、小中合同授業研究会や各校授業研究会を開催し、校区ごとの保小中一貫教育の推進を図っている。	R3-7	4,055	
									実施	変更なし	3,547		
91	学校ICT環境整備事業	3		学校教育	継続	総務学事室	学校ICT環境に関する、運用保守委託料、情報機器リース料、ネットワーク機器更新費、ICT支援員報酬等。	費用対効果、情報セキュリティ、5年後の契約更新	実施	教員支援のためのICT支援員の配置(1名)、導入機器の保守管理・トラブル対応、フィルタリングソフトの導入等により、効果的かつ安定的なICT活用体制の整備を図った。	R3-7	62,187	
									実施	変更なし	71,192		

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 他の 根拠 となる 計画 の名 称	事業 の政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		② 実施 年度	事業費 (R3-7)	
									③ 実施 状況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
92	学校パソコン更新	3		学校教育	継続	総務学事室	経年劣化に伴う機器更新。 ・教職員用パソコン(令和4年) ・児童生徒用のChromebookの更新は令和8年の予定。	教職員用パソコンは役場職員分と共同で調達することで導入費用を削減する。ChromebookのOS更新期限(令和8年6月)まで。	完了	令和4年度完了	R4	18,102	
										変更なし	18,102		
93	少人数学級実施事業	3	過疎計画総合戦略	学校教育	継続	総務学事室	小中学校の学級編成基準に基づいて、少人数学級を実施に伴う教員定数増に伴う人件費については、実施する市町村が一定の費用を負担するもの。	複式学級解消並びに少人数学級編成を行うことにより、児童1人1人に応じたきめ細やかな指導を行うことができる。	実施	八郷小、二部小の複式解消でそれぞれ教員1名増及び岸本中で3学級増で教員5名増、溝口中で1学級増で教員1名増とし、少人数学級を実施した。学習指導と生徒指導の両面での効果があり、進路指導の充実を図ることができた。	R3-7	170,000	
										変更なし	172,000		
94	小学校外国語教育推進事業	3		学校教育	新規	総務学事室	外国語活動の時間の充実のため、町内全小学校を担当する外国語指導助手(ALT)を配置する。外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ学習を開発する。	小学校の外国語活動の指導においてネイティブスピーカーの英語にふれることで、intonationや発音への意識をもたせるとともに、異文化への関心を高める。	実施	小学校外国語教育をサポートするため、近隣に在住の英語が堪能な者を外国語指導助手として1名配置し、外国語教育の充実を図った。	R3-7	13,773	
										変更なし	13,636		
95	小中学校屋外運動場整備事業	3	過疎計画	学校教育	新規	総務学事室	小中学校の屋外運動場の表土の下層の石などが表面に出ないよう、土の補充・整地・整備を行うもの。	屋外運動場の表土が、経年により流出し、下層の石などが表面に出てきており、児童生徒の運動活動時に危険な状態となってきている。	実施	屋外運動場の表土が、経年により流出し、下層の石などが表面に出てきており、児童生徒の運動活動時に危険な状態となってきている。令和6年度は、溝口小・八郷小を実施	R4-7	15,197	
										変更なし	7,773		
96	学校給食調理等委託事業	3		学校教育	継続	給食センター	専門性の高い技術(衛生管理体制等)を有し、業務実績がある事業者に調理業務等を委託することで、安全で安心な学校給食を児童生徒に提供する。	安全で安心な学校給食の継続的な提供	実施	専門性の高い技術(衛生管理体制等)を有し、業務実績がある事業者に調理業務等を委託することにより、安全で安心な学校給食の提供を児童生徒に行なった。	R3-7	161,700	
										変更なし	161,700		

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 他の 根拠 となる 計画 の名 称	事業 の政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実施 年度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実施 状況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
97	溝口公民館改修事業	3 過疎計画	学校教育	新規	溝口公民館	溝口公民館は平成15年の竣工から現在まで17年が経過しており、機器等の老朽化による故障の増加がみられる。については、長寿命化を基本とし、省エネ等による環境への配慮や機能・利便性の向上を図るために改修を実施する。	・空調システム更新 ・屋内外照明のLED化 ・屋上防水の改修 ・トイレの洋式化 ・玄関舗装(インターロッキング撤去後舗装) ・外壁シーリング補修及び塗装 ・床の亀裂修繕 ・窓ガラス飛散防止シートの貼付	完了	令和3年度完了	R3	84,917	変更なし	84,917
98	小中学校体育館等照明LED化事業	3	学校教育	新規	総務学事室	小中学校体育館等の照明をLED化することにより省エネ化を推進する。 (対象施設) 岸本小・八郷小・溝口小・岸本中体育館・八郷小特別教室棟	全小中学校体育館証明をLED化し、CO2削減による温暖化対策及び省エネルギーによる経費削減を図るとともに、教育環境の整備を図る。	完了	令和3年度完了	R3	33,917	変更なし	33,917
99	学校司書設置事業	3 過疎計画	学校教育	新規	総務学事室	選書、図書の受け入れ・廃棄における手続き、図書館内の整備・企画、生徒会委員会活動の補助、調べ学習補助、校外連携等にあたる学校司書を各学校に配置する。	読書アドバイス、多様な資料の提供、子どもたちの調べ学習など、学校図書館を利用した学習を充実させるため、児童生徒を支援できる人的体制整備が必要である。	実施	各小中学校に学校司書を配置 小学校 4名 中学校 2名	R4-7	52,194	変更なし	49,621
100	鬼の館駐車場整備事業	3 過疎計画	生涯学習	新規	生涯学習室	宇代多目的広場を鬼の館駐車場として整備する ・既存設備撤去(ナイター照明、照明柱、フェンス、ポール、クラブハウス等) ・造成、舗装、残地緑地化 ・駐車場(一般100台程度、身障者用、関係者用)、外灯設置	鬼の館の駐車場を整備することで、利用者の利便性を確保する。	完了	令和4年度完了 残地緑地化は延期(NEXCOに残土置場として貸与のため)	R4	57,133	変更なし	57,133

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 他の 根拠 となる 計画の 名称	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
101	住宅管理事業	3	人権	人 權 政 策 室	繼 續	人 權 政 策 室	町営住宅を適切に管理し、住宅に困窮する低額所得者等の居住の安定を図る。	昭和52年、昭和55年の建設された住宅であり、老朽化が著しいため、随時改修が必要。	実施	町営住宅を適切に管理している	R3-7	3,129	
										変更なし	2,510		
102	人権教育推進事業	3	人権	人 權 政 策 室	繼 續	人 權 政 策 室	同和問題を始めとした普遍的な人権課題及び個別具体的な人権課題の学習・啓発を推進するため、人権教育推進員を配置し、各種事業を実施する。	備考: 町民の生活実態に現れる人権課題の解決を目的として、住民学習を計画・運営を行うため、人権教育推進員を設置する。明るいまちづくり懇談会、人権啓発講座「ひまわりセミナー」企画、準備、助言及び、各団体への講師として指導助言を行う。	実施	ひまわりセミナー実施等人権啓発を行った	R3-7	14,141	
										変更なし	12,730		
103	人権教育・啓発推進協議会運営事業	3	人 權	人 權 政 策 室	繼 續	人 權 政 策 室	同和問題を始めとした人権問題の早期解決を図るため、伯耆町人権教育・啓発推進協議会を運営し、積極的な活動の推進を図る。	各種研修会等の実施や参加により、人権意識の高揚に努める。	実施	人権フォーラム、人権啓発標語の活用等人権教育に取り組んだ。	R3-7	6,841	
										変更なし	6,262		
104	隣保館管理運営事業	3	人 權	文 化 セ ン タ ー	繼 續	文 化 セ ン タ ー	地域住民の自立意識の高揚と社会的自覚の促進の充実を図り、国民的課題としての同和問題の速やかな解決に資する。また、伯耆町の人権教育・啓発の拠点施設としての役割と、第二種社会福祉事業の拠点として地域住民の福祉と交流の場としての隣保館の管理運営を行う。	文化センターは、人権情報の発信基地として、資料の収集、貸出や各種講習会の開催など、町民のニーズにあつた人権情報を提供している。今後も様々な事業により多くの方が交流し、学習することができる場を提供していくことが必要である。	実施	各種相談事業、地区学習会、各教室・講座、現地学習の受け入れ、啓発活動、100円ランチ、ミニディサービス事業等継続して実施した。 施設利用者延べ人数 隣保館 3,321人 児童館 571人	R3-7	40,801	
										変更なし	43,598		
105	町内遺跡発掘調査事業	3	芸 術 文 化	生 涯 学 習 室	繼 續		開発が予定される場所を試掘調査し、遺跡の範囲及び性格の確認を行い、開発との調整を図る。	毎年、緊急の試掘調査が入るため、文化財保護事業に影響が出ている。また、埋蔵文化財が増える一方で、整理保管作業の人員及び場所の確保が課題である。	実施	案件がなかったため調査実績無し。	R3-7	9,635	
										変更なし	8,411		

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 他の 計 画 の 名 称 と な る	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
106	文化財保護	3	芸術文化	生涯学習室	継続	生涯学習室	町内の指定文化財等の維持管理を行う。 国指定文化財 1件 県指定文化財 2件 町指定文化財 11件	文化財保護のため常時巡視が必要である。また、災害等の被害があった場合には速やかに対応する必要がある。	実施	町内の指定文化財等の維持管理等を行った。 ・県委嘱の文化財保護指導員による巡視 ・文化財周辺の草刈り、除草	R3-7	12,193	
										変更なし	12,067		
107	鬼の館運営事業	3	芸術文化	生涯学習室	継続	生涯学習室	本町の文化交流拠点施設として、文化に直接触れる機会を提供し、町内サークル等の発表の場としての利用及び施設の管理を行う。	令和3年度に長寿命化等改修工事を実施した。	実施	利用目的:和太鼓練習、コンサート、講演会等 利用件数:104件 利用人数:3,572人	R3-7	41,987	
										変更なし	44,756		
108	鬼の館長寿命化等改修工事	3	過疎計画	芸術文化	新規	生涯学習室	本町の文化交流拠点施設として、文化に直接触れる機会を提供し、町内サークル等の発表の場としての利用及び施設の管理を行う。	平成7年度開館のため、施設・設備が老朽化している。施設の長寿命化を図るための改修を行う。合わせてホール天井が吊り天井であるため、耐震化対策を行う。	完了	令和3年度完了	R3	153,750	
										変更なし	153,750		
109	写真美術館改修事業	3	芸術文化	新規	美術館	写真美術館に設置しているエレベーターは今年で25年経過し老朽化が進んでいる。また油圧式エレベーターは新規製造されておらず、部品供給についても2023年12月で終了するため、取替が必要である。 設計委託料 1,500千円 工事請負費 35,700千円 計 37,200千円	写真美術館に設置しているエレベーターは今年で25年経過し老朽化が進んでいる。また油圧式エレベーターは新規製造されておらず、部品供給についても2023年12月で終了するため、取替が必要である。 設計委託料 1,500千円 工事請負費 35,700千円 計 37,200千円	部品供給が終了するまでに更新する必要がある。 ロープ式エレベーターとする。 財源:伯耆町文化振興基金	完了	令和4年度完了	R4	35,640	
										変更なし	35,640		

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 計 画 の 名 称 と な る	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)		
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)				
										変更前	変更後			
110	海洋センター照明LED等改修事業	3		生涯スポーツ	新規	スポーツ公園	海洋センター全館(体育館・プール)の照明設備をLEDに改修する。併せて老朽化したプール関係設備(プール水濾過循環機、温水ボイラー等)の改修も行う。 ①照明LED化(体育館) 10,000千円 ②照明LED化(プール) 8,000千円 ③プール関係設備改修 10,000千円	B&G財団修繕助成対象事業 ①補助率65%(補助上限2,700千円) ②補助率65%(補助上限②+③計22,100千円) ③補助率60% 起債:合併特例債	検討	令和5年度にプール設備改修を実施した。体育館LED工事については令和8年度に実施予定。プール照明については検討中。	R5	33,655		
111	武道館照明LED化改修事業	3		生涯スポーツ	新規	スポーツ公園	溝口武道館、岸本武道館の照明設備をLEDに改修する。 ①溝口武道館照明LED化 3,000千円 ②岸本武道館照明LED化 2,000千円	令和6年までは現状(ハロゲン灯、蛍光灯)を維持しながら使用する。 起債:過疎債・合併特例債	完了	令和3年度完了	R3	12,106		
112	乳児家庭保育支援事業	3	過疎計画	子ども・子育て支援	継続	福祉支援室	家庭で乳児(0歳児)の保育を実施する保護者に対して給付金を支給する。 <支給額> ①育児休業給付金受給あり 給付金減額分(給与月額の1/6) (月齢9ヶ月～月齢12ヶ月) ②育児休業給付金受給なし 33,000円／月(月齢3ヶ月～12ヶ月) ③育休受給あり・なしともに 20,000円／月(月齢13ヶ月～18ヶ月)	近年、乳児(0歳児)の保育所への入所が増加している。その原因の一つに、経済的な理由による、産後の早い段階での就労の増加がある。子育てにとつて大切な乳児期に、家庭での育児に専念できるような対策が必要。	実施	家庭で乳児の保育を実施する保護者に対して給付金を支給した。 <支給実績> ①の対象者 43名 ②の対象者 19名 ③の対象者 34名 支給額合計 11,298,038円	R3-7	50,877		
113	学校給食費補助事業	3	子ども・子育て支援	子ども・子育て支援	継続	給食センター	子育て世帯の経済的負担軽減のため、児童生徒の学校給食費について、1食当り150円を補助する。 なお、令和4年度は1食当り200円、令和5年度は1食当り210円を補助する。	子育て世帯の経済的負担の軽減	実施	子育て世帯の経済的負担軽減のため、児童生徒の学校給食費について、学校給食費 1食当り222円(11月以降は232円)を補助した。	R3-7	147,179		
										変更なし	41,372			
										変更なし	147,636			

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 他の 根 拠 と な る 計 画 の 名 称	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)		
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)				
										変更前	変更後			
114	健康経営 地域活性化起業人 交流事業	4	健康づくり	健康づくり	継続	経営企画室	「フィットネス＆スタジオパル」「みぞくちテラソ」の安定運営や地域活性化を図るため、専門知識やノウハウを有する企業から社員の派遣を受け、伯耆町の事業展開に生かす。 派遣元企業:株式会社ルネサンス(東京都墨田区両国) 派遣人数:1名 派遣期間:H29.1～	「フィットネス＆スタジオパル」「みぞくちテラソ」が地域に定着はじめ、利用者数も安定してきている中、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者の減少がみられている。新型コロナにより外出への不安が感じられる中、新たな生活様式での健康づくりを伯耆町社会福祉協議会と連携して行い、運営の安定化を図る必要がある。	実施	地域活性化起業人を1名受入。「フィットネス＆スタジオパル」「みぞくちテラソ」の安定運営や地域活性化を図った。 派遣職員:清水 拓也 派遣元企業:株式会社ルネサンス(東京都墨田区両国)	R3-7	32,825	変更なし	34,805
115	検診事業	4 過疎計画	健康づくり	健康づくり	継続	健康増進室	各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、胃がんリスク層別化検診を行う。	症状の無い病気を早期に発見するには、無症状のうちから定期的な検診を受けることが大切である。	実施	がん検診 胃がん検診:1,332人 肺がん検診:1,396人 大腸がん検診:1,369人 乳がん検診:318人 子宮がん検診:657人 前立腺がん検診:335人 骨粗鬆症検査:182人 肝炎ウイルス検査:104人 胃がんリスク層別化検診:77人 国民健康保険人間ドック:214人 後期高齢者人間ドック:53人	R3-7	154,710	変更なし	156,375
116	ゆうあいパ ル修繕事 業	4	地 域 福 祉	地域福祉	継続	福祉支援室	安全で安定した運営を行うため、計画的な修繕を行う。	施設運営において、3～4年に1度は必要な設備の取替等を計画的に行う。 (源泉ポンプ取替、ろ過材の取替)	実施	貯水槽漏水修繕、ワールプール系統温度指示調節計取替等の修繕を行った。	R3-7	24,847	変更なし	24,786
117	溝口福祉セ ンター改修 事業	4 過疎計画	地 域 福 祉	新規	福 祉 支 援 室	溝口福祉センターのエレベーターは設置より27年経過し、各機器の経年劣化が進行している。利用者の安全のため、更新を行う。 また、利用者利便性を考え、トイレを洋式に改修する。	・エレベーターの更新 ・和式トイレを洋式トイレに改修	完了	令和4年度完了	R4	22,050	変更なし	22,050	

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 計 画 の 名 称 と る る	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
118	岸本保健福祉センター改修事業	4		地域福祉	継続	福祉支援室	岸本保健福祉センターは平成14年の建設から18年経過している。老朽化の実態調査を行ったところ、建物全体に軽度な劣化が見つかった。このため、今後の施設機能保全に必要な改修を実施する。	・屋根防水 ・軒天、雨樋改修 ・外壁、サッシコーティング ・浴槽防水改修 ・電話設備更新 ・ゆうあいバル中央監視盤更新 ・ゆうあいバル機器類自動制御盤更新等	完了	令和4年度完了	R3-4	215,362	
										変更なし	215,362		
119	訪問介護サービス確保対策事業	4	過疎計画	介護・高齢者福祉	継続	生活相談室	訪問介護サービスの確保を図るため、効率性や採算面で不利な条件にある中山間地域で事業実施している事業所に対し、運営費の助成を行う。	訪問介護サービスにおいて利用者宅への移動に要する時間の長短は報酬での評価がなく、移動時間がかかった部分については赤字の要因となっている。	実施	対象となる訪問介護事業所に補助金の交付を行った。 事業所数 1件 補助金額 3,046千円	R3-7	17,829	
										変更なし	20,875		
120	集落支援員配置事業	5	過疎計画	まちづくり	継続	町づくり推進室	二部・日光地区に集落支援員を配置し、地域や集落の課題を把握し課題解決に向けた取り組みを行う。	過疎化・高齢化が急速に進む二部・日光地区において、地域の実情に対応した集落の維持及び活性化対策が必要である。	実施	二部・日光地区に各1名集落支援員を配置し、集落活動支援を実施	R3-7	15,353	
										変更なし	18,087		
121	ため池防災減災対策推進事業	1	過疎計画	消防・防災	新規	農林室	利用されていない防災重点ため池の廃止を行う。	管理されていない未使用の防災重点ため池について、所有者・管理者の意向を確認し廃止を行い、災害による被害の低減を図る。	実施	ため池廃止測量設計 ・奥福園溜池 2,035千円 ため池廃止工事 ・権現谷堤 1,823千円 ・佛ヶ谷堤 7,391千円	R5-7	7,150	
										変更なし	53,407		

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本方針	その 他の 根 拠 と なる 計 画 の 名 称	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		⑦ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)	
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)			
										変更前	変更後		
122	農業経営 収入保険 料等緊急 支援事業	2	農業	新規	農 林 室	各農家が加入している農業経営収入保険及び農作物等の農業共済に係る保険料の支援を行う。	資材価格高騰等の影響を受ける農家に対する支援を行い、農業経営の負担軽減を図る。	補助対象 ・農業経営収入保険 ・水稻共済 ・麦共済 ・大豆共済 ・そば共済 ・果樹共済 ・家畜共済 事業費:9,803千円	実施	R4-7	40,096	変更なし	38,314
123	新規就農者育成総合対策事業	2	農業	新規	農 林 室	・新規就農者に対する経営発展のための機械・施設等の導入を国と県及び町(任意)で支援する。(1)経営発展支援事業 ・次世代を担う農業者となることを目指し新たに経営を開始するのに必要な資金を交付する(2)経営開始資金(旧農業次世代人材投資資金)	就農初期に係る運転資金、用途を定めない給付金と新たに経営発展のための機械施設等の導入を支援する。	新規就農者に対する経営発展のための機械・施設等の導入を支援及び経営開始資金を交付する。 対象者:1人 補助額:7,710千円 事務費: 10千円	実施	R6-7	9,391	変更なし	7,710
124	町道吉定 大原線改良事業	1	道路網	新規	環 境 整 備 室	町道改良事業 L=400m	歩道整備及び道路拡幅	測量業務 1式	実施	R6-9	8,894	R6-10	28,985
125	農業集落 排水施設 機能維持 事業	1	上下水道	新規	上 下 水 道 室	農業集落排水施設の機能維持(遠藤・久古・吉定処理場)	施設稼働から20年以上経過し、機器の老朽化による故障等が発生しているため、老朽化機器の更新を行う。 また、機器更新を行う際に、省エネ機器の導入が可能な場合は、省エネ機器に更新することで維持管理費の削減を図る。	令和7年度以降実施予定	未実施	R7-11	7,000	変更なし	9,000

①総合計画における取組事業一覧(R3～R7年度の総事業費5,000千円以上)

(単位:千円)

全 体 番 号	事業名	基本 方 針	その 他 根 拠 と な る 計 画 の 名 称	事業 の 政 策 分 野	分 類	事 業 担 当 部 門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		④ 実 施 年 度	事業費 (R3-7)
									⑦ 実 施 状 況	① ◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など) ◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)		
										変更前	変更後	
126	農業集落排水維持管理適正化計画作成事業	1		上下水道	新規	上下水道室	農業集落排水施設維持管理適正化計画の作成 (二部・旭・金岩処理場)	維持管理適正化計画を作成することで、運転管理の現状、維持管理費の削減効果などの検討を行うことで、今後の維持管理費縮減等を図る。	未実施	令和7年度実施予定	R7 変更なし	22,500 23,000
合 計 (変更前)												6,136,113
合 計 (変更後)												6,489,298

新規事業(追加分) (R3~7年度 事業費5,000千円以上)

新規

(単位:千円)

区分	事業名	基本方針	その他根拠となる 計画の名称	事業の政策分野	事業分類	事業担当部門	事業の概要(事業量等)	事業により改善すべき現状 又は解決すべき課題、その他、備考等	令和6年度の実施状況		実施(予定)年度	全体事業費(R3-7) 予定額 実績額
									実施状況	◎実施した事業の内容 (実施対象、実施手段、実施結果など)		
										◎今後の改善事項等(事業内容の変更など)		
ハ ード	町道殿河内1号線改良事業	1	道路網	新規	環境整備室		町道改良事業 L=160m	道路の拡幅	未実施	R7年度実施事業	R7-10	5,000
ハ ード	町道中学校線改良事業	1	過疎計画	道路網	新規	環境整備室	町道改良事業 L=160m	道路の拡幅及び路肩改良	未実施	R7年度実施事業	R7-10	5,000
	ゆうあいパルキッズスペース整備事業	3	子ども支援・子育て	新規	福祉支援室		岸本温泉ゆうあいパル内のレストランスペースの改修し、乳幼児とその保護者が安心して利用できるキッズスペース整備する。	・小上がりの置スペースの撤去 ・授乳室の設置 ・エアコン取替 ・手洗い器移設 ・厨房との間仕切り壁設置 ・厨房内の機器撤去 など	完了	授乳室を有したきっずルーム設置 <利用者概算(きっずルームのみ利用者)> 延利用者数1560人(8月～3月)	R6	8,881
	こしき保育所機械設備更新事業	3	子ども支援・子育て	新規	福祉支援室		こしき保育所について建築から16年を経過し、機械設備(空調設備、給湯設備等)の老朽化が進んでいることから、機械設備更新を行い施設の機能性の向上及び長寿命化を行う。	・エアコンの更新、エアコン更新に伴う天井改修、天井点検口新設、給湯熱源の更新、分電盤の新設・改修、照明器具追加、キュービクルのトランク更新	実施	実施設計委託	R6-7	122,333
合 計												141,214